



平成 26 年 11 月 20 日
海 上 保 安 庁

薬物問題に関する講演会の開催について—アジア太平洋地域における薬物不正取引に係る水際対策について—

不正薬物市場は、世界的に拡大傾向にあります。我が国はアジア太平洋地域において収益性の高い巨大市場として不正薬物流入の脅威に直面しています。

我が国では、薬物のほとんどが海外から密輸されていますが、近年の特徴としては、そのルートの多様化、手口の巧妙化、さらに大口化といった点があげられます。今年初めに発生したメキシコ来コンテナ貨物による覚せい剤密輸事案にその特徴がよくみられます。さらに、我が国では、昨今、危険ドラッグが深刻な社会問題となっており、啓発活動の強化を始めその徹底的な対策が喫緊の課題となっています。

四方を海に囲まれる我が国においては水際対策が重要で、海上保安庁としては、国内の関係機関と連携して取締りの徹底等を図るとともに、海外の関係機関や国際機関との連携・協力を推進し、国内流入の阻止に向け全力を尽くしています。

このような状況を踏まえ、今般、国連薬物犯罪事務所（UNODC：United Nations Office on Drugs and Crime）から専門家を招聘し、近年、世界的にもその脅威が拡大し水際での脅威も迫る危険ドラッグに注目し、下記のとおり講演会を開催することとしました。

なお、この講演会は、海洋政策研究財団の平成 26 年度海外交流基金事業の一環として実施されます。

記

1 日時：平成 26 年 11 月 26 日（水） 15:00～16:30

2 場所：TKP ガーデンシティ永田町（千代田区平河町 2-13-12）

3 講演会概要：

(1) 我が国における不正薬物海上輸送の現状と水際対策

～海上保安庁警備救難部国際刑事課

(2) Responding to the Rapid Expansion of NPS（急速に拡大する危険ドラッグへの対応について）

※NPS: New Psychoactive Substance

～国連薬物犯罪事務所（UNODC）Information Analyst Mr. Inshik Shim

Inshik Sim 氏は、韓国出身、米国にて修士号（国際政治）を取得後、海軍情報分析官、韓国刑事政策研究学院（Korean Institute of Criminology）を経て、2012 年から UNODC に所属、「A transnational Organized Crime Threat Assessment（UNODC）」の編集にも参加している。

※日英同時通訳が付きまます。

4 参加費：無料（定員 130 名）

※ 申込 海洋政策研究財団ブログ URL

<http://blog.canpan.info/oprf/archive/1489>